

はじめに

■ハガキは人類が生み出した、世界共通の魔法のツール

あなたにとって、本当の勇氣とは何だろうか。
バンジージャンプを飛ぶことだろうか。
ジェットコースターに乗ることだろうか。
後先のことを考えずに、猪突猛進に突き進むことだろうか。
違う。

それらは本当の勇氣ではない。
人間にとって、一番勇氣が必要とされることは何だろう。
僕は、本当に好きな人に「好きだ」と面と向かって言うことだと思う。
本当に謝らなくてはならない人に「ごめんなさい」と面と向かって言うことだと思う。
本当に感謝しなくてはならない人に「ありがとう」と面と向かって言うことだと思う。
あなたは、そんなこと簡単だと思うだろう。

とんでもない。

「心では好きだと思っている」ことと、実際に本人を前にして「好きであることを伝えること」はまったく違う。

「心では申し訳ないと思っている」ことと、本人を前にして「ごめんなさいと伝えること」はまったく違う。

「心では感謝している」ことと、本人を前にして「ありがとうと伝えること」はまったく違う。

みんな心で思っているだけで、伝えてはいない。

情報といつのは、自分が心の中で思い込んでいることではなく、相手に伝わったことだけが唯一、情報だ。

頭ではわかっているけど、こんな当たり前のことをきちんとできている人はほとんどいないのが実態だ。

その証拠に、あなたは今日好きな人に「好きだ」と何度言っただろうか。

あなたは今日、「ごめんなさい」と何度言っただろうか。

あなたは今日、「ありがとう」と何度言っただろうか。

うっかりするとこれらを一度も口にすることなく、1日を終えてしまうのだ。

否、1日どころか一生を終えてしまう。

人生において、そのくらい面と向かって「好きだ」「ごめんなさい」「ありがとう」を伝えることは難しいことだ。

**もし、あなたが面と向かって「好きだ」「ごめんなさい」「ありがとう」「をきちん
と伝えることができないならば、世界中どこへ行っても生きていくことができないだろう。**

ハガキがあれば「好きだ」「ごめんなさい」「ありがとう」は簡単に伝えることができる。人生におけるトラブルのほとんどを未然に防ぐことができる。

ハガキというのは人類が生み出した知恵の結晶であり、世界共通の魔法のツールなのだ。

■「ありがとう」「好きだ」「ごめんなさい」をきちんと言葉で伝えるだけで、人生が全然違う。

僕がコンサルティング業界に入ってやり通したことがたった一つだけあった。

経営書をむさぼり読むことではない。

ビジネススクールに通って最新の経営理論を学ぶことでもない。

目に見えない、手触り感のない、得体の知れないコンサルティング業界という世界に飛び込んだ、右も左もわからない自分がやり通せること。

それは、ハガキを書き続けようということだった。

それにしても、今どきハガキである。

だけど、これには確信があった。

デジタル最盛期に、超アナログだと逆に目立つ。

そして、本来人間というものほどこまでもアナログだという事実。

ただし、どうせやるなら中途半端ではダメだと思った。

出逢って名刺交換した人に対しては例外なくハガキを書くことにした。3日程度なら誰でもできることを、とりあえず1年間やり通すことにしたのだ。

世の中で大きなことを成し遂げている人の共通点は、当たり前前のことを当たり前前
にやり続ける人だということはハッキリしていたいからである。

自分自身と約束した通り、出逢って名刺交換した人に対して例外なくハガキを書き続け
たら不思議なことが起こった。

**その1年後には業績が倍増し、わいこの3年後には当初の業績が8倍になって
いた。**

ふと気づいたら、毎年自然に業績が雪だるま式に顧客と売上が増えていったのだ。周囲からは、

「いったいどんな営業をしているのか」

「どんな仕事のやり方をしているのだ」と質問が相次いだ。

そして僕はいつも本当のことを答えた。

「名刺交換した人すべてに、ありがとうございます」とハガキを書き続けただけ」

しかし、誰も相手にしなかった。

十分な睡眠時間を確保しながらも、トップコンサルタントといわれる基準の倍の業績を叩き出していたから、たしかに何かとっておきの打ち出の小槌があると思われるも不思議ではなかった。

見込み客に困ることはなく、尊敬できる大好きな人たちと存分に楽しんで仕事ができる。すべてはハガキのおかげだった。

もちろんビジネスだけでなく、プライベートでもそのまま気軽に適用できる。

むしろ仕事とプライベートの区別など意識しないほうがいい。

僕が本書で公開するハガキのコツは、すべてにおいて何も特別な努力や才能がなくても誰でも楽々続けられる簡単なことばかりだ。

いずれも一つずつ読んでいけば、拍子抜けするほどシンプルなものばかりだが、不思議なことには誰も今まで教えてくれなかった。

あなたには、ぜひ、ハガキを書き続けてハッピーな人生を謳歌して欲しい。

きつと人生が一変することをお約束する。

2010年10月吉日 南青山の書齋から

次代創造館代表

千田琢哉

はじめに.....

2

第1章 メールやツイッターの時代だからこそ、ハガキを書こう！

- 1 忙しくてハガキを書く時間がなかなかない..... 14
- 2 この時代になぜハガキなのか？..... 16
- 3 字が下手だからハガキを書きたくない..... 20
- 4 無趣味で気の利いたセリフが何一つ言えない..... 22
- 5 毎日ハガキを書き続けるのは大変では？..... 24
- 6 そもそもいったい誰にハガキを書けばいいのか？..... 26
- 7 恥ずかしい話、たったの50円でも躊躇してしまう..... 28
- 8 たった1枚のハガキで、美しい企画書に勝てる!？..... 30
- 9 ハガキで書くことがない。いったい何を書けばいいの？..... 34
- 10 どんなハガキが感動する？..... 36

第2章 ハガキを書くのは、こんなにカンタン！

- 11 こうしたら売れるという「殺し文句」を教えて!..... 40
- 12 チラシやダイレクトメールのようなマル秘テクニックはない？..... 42
- 13 ハガキを出してクレームがきたことはない？..... 44
- 14 お礼ハガキを出す人はどのくらいいる？..... 46
- 15 どうしたらハガキが新規開拓につながる？..... 50
- 16 ハガキを書くとき、自分の何がかわる？..... 52
- 17 ハガキ書きを1年間継続すると、明らかにわかる変化はある？..... 54
- 18 「今どき時代遅れだよ」と笑われそう..... 56
- 19 結局、ハガキを書く最大のメリットは？..... 58
- 20 どんな筆記用具を使えばいい？..... 62
- 21 筆記用具にこだわりはある？ おススメの筆記用具は？..... 66
- 22 いつハガキを書けばいい？..... 68

- 23 当日以外にハガキを書くチャンスはどんな時？……………70
- 24 相手の印象に残るハガキの書き方は？……………74
- 25 宛名から書くべき？ 本文から書くべき？……………76
- 26 すべて手書きでないとダメ？……………78
- 27 伝えたいことがたくさんあって、書ききれなかった！……………80
- 28 ハガキはみんなに読まれるので本音が書けない？……………84
- 29 漢字を驚くほど忘れてしまって書くのに抵抗がある……………88
- 30 クレーム対応にもハガキは使える？……………90
- 31 住所録の管理の方法はどうしている？……………92
- 32 もらったハガキの整理整頓はどうすればいい？……………94
- 33 ハガキを買いに行くのが面倒くさい……………96
- 34 「じきたり」がたぐさんありそつて、書くのに疲れてしまう……………98
- 35 筆不精な上に、生粋の面倒くさがり屋だが……………100
- 36 余り短いと軽く見られないか？……………104
- 37 効果的な投函のタイミングは？……………106

- 38 もらったハガキの数があまりに少なくて落ち込んだ……………108
- 39 年賀状や暑中見舞いのハガキはどうする？……………110

第3章 **ピンチをチャンスに一変させる知恵**

- 40 字を間違った！ 修正液を使うべき？ 最初から書き直すべき？……………114
- 41 投函した後に字の間違いに気づいた……………116
- 42 ついつい長くなってしまい書ききれない……………118
- 43 せっかく書いたのに、投函するのをいつも忘れてしまう……………122
- 44 しまった!? ハガキのストックがなくなっちゃった！……………124
- 45 うっかりハガキを出すのを忘れてしまった……………126
- 46 「会社の経費を無駄遣いするな」と上司に注意された！……………128
- 47 プレッシャーのかかるテレアポで成果に直結させやすいコツは？……………130
- 48 相手に先を越されてハガキをいただいてしまった！……………132
- 49 誰とも会わなかった日は誰に書く？……………134

第1章

メルヤリムッ
の時代押し法
ハガキを書こう!



あとがき..... 162

59 「そんなの自己満足だよ」と同僚に言われてしまった。..... 156

58 1人に何枚もハガキを出したらおかしい?..... 154

57 見事、ハガキ書きを一年間継続したら..... 152

56 それでもやっぱり相手からの返事が欲しい..... 150

55 ハガキを書いてもどっせ返事なんて来ないのでは?..... 148

54 職場でハガキを書く、遊んでいると勘違いされそうなので気を遣う..... 146

53 お金がかかって仕方がない気がする..... 144

第4章 あなただから、できる!

- 52 ハガキをちよつとだけお洒落にするコツ [その3]..... 140
- 51 ハガキをちよつとだけお洒落にするコツ [その2]..... 138
- 50 ハガキをちよつとだけお洒落にするコツ [その1]..... 136

1

忙しくてハガキを書く時間がなかなかない



そもそも「ありがとう」を
伝えるよりも大切なことが
人生にあるのだろうか？

コンサルティング現場や講演で私のハガキの話をするとうくさんの相談を受ける。その中でも、もっとも多いのが「忙しくてハガキを書く時間がない」というものだ。忙しくてハガキを書けないという人は書かなくてもいい。ハガキに「ありがとう」のひとつも書けなくなるくらい忙しい人は書いてはいけない。

だが僕はそんな人にいつも同じ質問をするようにしている。

「この世の中で『ありがとう』のひとつ言を伝えるよりも大切な仕事があるのだろうか」

「人生において『感謝』の気持ちを伝えるより大切なことが果たしてあるのだろうか」

僕自身はどんなに忙しくなっても「ありがとう」のひとつ言が伝えられなくなるような人生を送るようになったらおしまいだな、と思っている。

どんなに忙しくなっても、「ありがとう」のひとつ言を手書きでハガキに書いて投函できるくらいの余裕を残した人生を送らなければ、人生を生きることにならないのではないかと思う。